

HSC015-P02

会場:コンベンションホール

時間: 5月23日17:15-18:45

地域防災計画と防災リテラシーの向上

Regional Disaster Prevention Plan and literacy for local governments

織原 義明^{1*}, 鴨川 仁², 長尾 年恭³, 上田 誠也⁴

Yoshiaki Orihara^{1*}, Masashi Kamogawa², Toshiyasu Nagao³, Seiya Uyeda⁴

¹東海大学/足利市議会, ²東京学芸大学物理学科, ³東海大学地震予知研究センター, ⁴日本学士院

¹Tokai Univ. / Ashikaga City Council, ²Dpt. of Phys., Tokyo Gakugei Univ.,

³EQ Prediction Res. Center, Tokai Univ., ⁴Japan Academy

地方自治体（都道府県や市町村）では、災害対策基本法（第40条）に基づき、地域防災計画が定められている。この計画は地域の実情を考慮し、防災のために処理すべき業務などを具体的に定めている。しかし、いざ災害が発生したときにその計画が有効に活用されるかどうかについては不透明なところがある。特に、地震はいつ・どこで起きてもおかしくないことから、災害の大小は、日常の備えの違いにより変わると考えられる。また、自然災害の多い地域と少ない地域とでは、災害に対する意識にも差があると考えられる。たとえば1995年兵庫県南部地震では、防災意識の低い地域での直下型地震であったため、被害が大きくなった可能性がある。本研究では、地域防災計画の地域比較研究および被災した実例を考察し、行政組織の防災リテラシーを向上させる方法論を提言する。

キーワード:地域防災計画,リテラシー,地震

Keywords: Regional Disaster Prevention Plan, Literacy, Earthquake